

令和2年度第1回 世界に誇れる環境先進都市かめおか協議会
当日の進行及び議事要旨

◇開 会

◇市長あいさつ

- ・平成30年12月13日に「亀岡プラスチックごみゼロ宣言」を行い、今日までの間、昨年度についても8回に渡りプラ製レジ袋の提供禁止条例について色んな議論をして頂いたことに心から感謝申し上げます。
- ・条例については、本年3月に議会で可決され制定した。来年1月1日から施行する予定での方向性を示した。一方で市民方々からこの条例への理解がまだまだ得られていない現状であると理解している。
- ・7月1日から国の有料化が開始され、一歩進んできたと思うが、色んなところで御意見があるのが事実だと思っている。
- ・より良い環境を次代に引き継ぐため、一つの方法として、市民の皆さん、事業者の皆さんにもご協力頂きながら共に環境先進都市に向けた取り組みを進めていきたい。
- ・皆様には、色々ご無理難題を申し上げるところもあるが、積極的なご意見を頂く中で取り組みがより一層進んでいくようにご尽力を頂くようお願い申し上げます。

《協議事項》

(事務局説明)

(1) 亀岡市プラスチック製レジ袋の提供禁止に関する条例の制定・施行について

条例の制定と内容について

代替紙袋の共同購入について

(会長)

- ・ただ今、事務局から説明があった。質問、意見のある方は挙手を願う。

(亀岡商工会議所)

- ・代替紙袋の共同購入の説明会を実施した中で、事業者から出た意見について、現在の市の対応状況は。

(会長)

- ・資料の中で、「説明会での意見を踏まえ共同購入の紙袋の規格及び金額等の見直しを進める。支援を必要とする事業者へ広く、的確に補助ができるよう効果の高い手法等の検討を進める。」とあるが、これよりも具体的な内容ということで良いか。

(亀岡商工会議所)

- ・紙袋の金額などの話。

(会長)

- ・ それでは今の質問に対し事務局から説明を願う。

(事務局)

- ・ 現在、まさに検討を進めており経過報告となるが、7月29日に再度説明会を開催するので具体的な内容はその時に提示できると考える。
- ・ 観点としては、金額の低減と規格についてマチの広いものの追加を検討していること。また、共同購入で用意するものに当てはまらない需要に対する幅広い補助事業の実施について、必要性等を検討したうえで改めて説明したい。

(亀岡商工会議所)

- ・ 現在、紙袋を用意する業者が一つであるが、もう一つ用意すれば競争原理によってもっと安くなるのでは。複数業者で実施する考えはあるのか。

(会長)

- ・ 事務局から説明を願う。

(事務局)

- ・ 市内業者での実施を考える中で、紙袋へ亀岡市環境ロゴマークの印刷が必要な点や市内の需要の取りまとめ、さらに配送も必要であることから、京都府の印刷工業組合に声掛けし、口丹波支部の中で競争をして頂く中で調達業者が決まる予定である。
- ・ 亀岡市が入札を行うものではないことは、ご承知おき頂きたい。

(原田副会長)

- ・ 配布資料「紙袋の共同購入の仕組みづくりについて」の2枚目に、市単独ではなく商工会議所等と一緒に進める中で、一番効率的な方法を検討頂いている、と理解している。
- ・ 低廉な金額のみを求めるのであれば、全国の業者に発注するのも一つの方法であるが、地域経済のことも考える中で印刷工業組合を通じたの依頼になっている、と理解している。
- ・ 市が単独で公募して入札する一般的な事業とは違うということを申し添える。
- ・ この場は協議会であり、事務局を質問攻めにするのではなく、皆さんで話し合う場であると考えているが、例えば「支援を必要とする事業者」の範囲はどこまでなのか。というのも、色々な店があり、株式会社もあれば個人商店もある。あるいは、地域で運営している直売所やNPO等。共同購入の紙袋は一つの支援であるが、もしも、それ以外の新たな支援を市役所で考えているのであれば、袋に特化するのではなく、使い捨てのごみ（特にプラごみ）を減らす様々なチャレンジに対して補助するようなことを検討してはどうか。例えば食器を環境負荷の低いものに変えていくような取り組みなど、袋だけに議論が集中しているが、そういった別の取り組みへの支援も必要であると考えているが、皆さんはどうですか。

(会長)

- ・ まず、代替紙袋についての質問に対する事務局の回答がありましたが、7月29日に再度説明会が開催されるとのことなので、そこでさらに踏み込んだ説明がなされると思う。

(仲山亀岡市副市長)

- ・現在の懸念は、共同購入にしても代替の袋にしても、どれだけ安くできるかということに尽きると思う。検討経過として、そもそも共同購入の話が出てきたのも、まとめて注文した方が安くなるという一般論として出てきたもの。まとめてロット数を多くすれば安くなるであろうという想定であり、かつ事業者の方の必要なサイズも S~L の 3 サイズほどに要望が集まるのではないかという意見もあった。
- ・少し事務局からの説明が複雑であったが、検討の中では 1 社にお声掛けしたわけではなく、複数の会社（ネット通販で手に入るような会社も含め）が検討案にはあった。実際に作業の内容を考えると、必要枚数や発注のタイミング等を取りまとめるのが大変であり、それが出来る業者は限られていたところである。
- ・そういった部分もあり、最初に立ち戻ってみて、そもそも共同購入か、もしくは先ほど原田副会長からあったように、色々な方が色々な取り組みを展開している中では個々に補助した方が結果的に良いのではないか、という意見が出ていると考える。
- ・あくまで共同購入は一つの案で、我々も共同購入に拘っているわけではない。しかし、商工会議所からの意見や議会からの付帯決議でも出ているので、真面目に検討している。共同購入に拘るわけではなく、皆さまのニーズに叶うような補助制度ができないかという観点で検討し、改めて 7 月中に提示したいと考えている。

(会長)

- ・その他ご意見等ないか。

(商工会議所)

- ・一つだけお願いしたいことがある。1 2 月までに対応が間に合うように考えて欲しい。

(会長)

- ・スピード感を持った対応をという要望であったので、よろしく願います。
- ・ほかに質問等ないか。なければ、次の議題「今後の事業展開について」説明願う。

(事務局説明)

(2) 今後の事業展開について

【排出抑制対策】

亀岡のおいしい水プロジェクト

リバーフレンドリーレストランプロジェクト

【発生ごみ対策】

エコウォーカープロジェクト

プラごみモニタリング

【次世代教育】

教育プロジェクト

(会長)

- ・環境先進都市かめおかのまちづくりに向けて、大きく3つの枠組みで具体的な施策の説明もあったが、今の説明について、御質問はないか。
- ・何か肉付けするような案などがあれば、是非、御意見を出して欲しい。
- ・なければ、次の議題について事務局から説明願う。

(事務局説明)

(3) 地域循環共生圏プラットフォーム事業の継続について

(4) 部会による運営について

(会長)

- ・ただ今の説明について、御質問等はないか。
- ・なければ、先ほどの事業展開も含めここまでの説明にあったような施策の展開にこの協議会も協力していきたいと考えるので、よろしく願います。
- ・ひとまず、本日の議題としてはひととおり終了した。
- ・これまで1年間、ほとんどレジ袋の条例について協議してきたが、今回の議題にもあるように、今後、レジ袋以外の事業も含めて「環境先進都市かめおか」をどのように作っていくのか、もちろん個別の具体策は進める中であるが、大きな枠組みで持続可能な社会を作っていく必要があると考えている。
- ・最近では、コロナウィルスの感染拡大により大きな影響が出ているが、その他にも今までなら考えられない異常な豪雨が毎年降るなど、明らかに気候が変わっている。環境は人間が生きていく中で本当に大切な部分であり、そこについて、亀岡が先進的に取り組んでいくということ。
- ・今日は、せっかくの機会ですので、環境先進都市に向けた取り組みについて、皆さんの意見を伺いたいと思う。
- ・時間に少し余裕があるので、誠に勝手に申し訳ないが、御参加の皆さんから順番に発言を願う。

(岸副会長)

- ・本日の説明にもあったが、亀岡が先進都市として環境の取り組みを進めていくことは、非常に良い取り組みであると思う。
- ・事務局から説明があったが、紙袋の共同購入について、6月22日・23日の説明会では、本日の資料にもあるような意見が出ていたが、我々商工会議所は商業者の団体であるので、立場上コロナに関わる部分は避けて通れないと考えている。
- ・全国的にみると現在も新たな感染者が出ているが少し落ち着いており、幸い亀岡では新たな感染者はない状況であるが、今後もどうなるか分からない。
- ・観光客などの人出も少し戻ってきており、商業者にとって一番大事な時期に条例が施行

されることが非常に懸念されており、先日の内部の会議でも多く意見として出ていたことはこの場で伝えておきたい。

- 共同購入の制度を我々からも提案したということだが、これは商工会議所から提案せずとも、スケールメリットを考えると出てきた意見であると思うので、今後もぜひ進めてもらいたい。
- 先般、新聞にも出ていたが、新たな補助の拡大（個々で準備する紙袋購入に係る補助）は大変ありがたい。
- 今後も難題が多くあると考えるが、一つずつの解決に向けてこの協議会と一緒に進んでいければと考える。

（保津町自治会）

- 地球温暖化が目に見えて起こっており、また、プラスチックごみの問題も起こっている。レジ袋はプラごみのうちの2%ぐらいの量しかなく、プラスチック自体も便利なものもあるが、以前はこんな問題が出てくるなど考えていなかったと思う。ところが今、現実問題として出てきており、非常に大きくなってきている。
- たった2%に対する削減であるが、これが5%、10%、20%、30%とごみ全体の削減に広がっていくことに期待をしており、そうあって欲しいというのが今の気持ち。

（篠町自治会）

- 自治会としても、地域の中でごみを削減するような意識付けをしていきたいと考える。

（亀岡地区中部自治会）

- 国連環境計画の報告会の中で出ていた話であるが、生分解性の素材について学者の中でも意見が割れているようである。生分解性の素材（PHBH）については、国内であればカネカが作成している。そういった研究をどれだけ進めてきたのかは分からない。
- 基本的にプラスチックそのものを削減することは、大事だと思う。レジ袋は2%ほどしかなく、もっと他にもプラスチック製品はある。特殊なところに焦点を当て、全体を見ていないのではないかと思うので、その点は今後検討頂ければと思う。

（嵯峨野観光鉄道）

- 今日のように雨が降ると保津川の水位が上がり、ごみが上の方の枝に引っかかり非常に景観が悪くなるなどの悪影響から、取り組みが始まっていると考えている。
- 3月24日の日経新聞で、保津川などの素晴らしい自然を次代まで残さなければならぬ、といった市長の発言が掲載されていた。本当にその通りで、こうした取り組みは亀岡市だけでなく、下流の京都市までも同じ気持ちで努力していかなければならない。特に我々は亀岡市と京都市を結ぶ列車なので、そういった部分でも取り組みに協力していきたい。

(亀岡市観光協会)

- ・我々の運営する「かめまるマート (物産店)」では、昨年2月からおそらく市内で最初にレジ袋の有料化に取り組んだ。(大手チェーン店以外で)。現在、ほとんどのお客様がレジ袋を必要とされない。
- ・現在、観光産業もコロナで非常に厳しい状況である。ようやく、元通りではないがお客様にたくさん来ていただくようになってきている。
- ・観光と環境は非常に密接に関係しており、お客様を迎えるうえでは観光地を綺麗に保つことは基本。
- ・春は桜、今の時期は桔梗、秋はコスモスや紅葉など、四季それぞれに合わせた取り組みを継続的に進めている。そういったところでも環境や自然を美しく保つことは非常に重要であると考えている。
- ・今年は、コロナの影響で様々なイベントが中止になっているが、来年は是非とも実施させて頂いて、環境の取り組みにも協力していきたいと考えている。

(亀岡商工会議所)

- ・商業者としては、紙袋の単価のことが一番大事。できるだけ安くという思いがある。その中で具体的な話がないと次に進めない。7月29日の説明会でそういった部分を聞けると思うが、みんなで協力して次のステップにいけるように、よろしく願います。
- ・議題以外の質問の時間が無かったので今お聞きするが、亀岡市内の全事業者が対象になる条例であるが、全事業者を把握していないということだが、その条例を周知したり、遵守されているか確認するなど、運用管理はどうしていくのか。
- ・当然店としては協力するが、条例の中では特に市民等が市にプラ製レジ袋をどこその店が使用していると報告する責任は規定されていない。

(事務局)

- ・全事業者の把握については、小売業を中心に幅広く調査、把握していきたい。色々な広告媒体を使用する等、できる限り幅広く周知するように進めていく。合わせて条例施行後に寄せられる情報をもとに、個別に対応もしていく予定である。

(亀岡商工会議所)

- ・亀岡市以外からイベントや店に来られる方もいる。幅広く確認していただき、できれば全事業者平等になるようによろしく願います。

(合同会社西友)

- ・昨年から協議会に参加している。本社も非常に注目している条例である。市から何度も店に足を運んでもらい、説明も頂いた。
- ・今後も情報交換する中で、しっかり対応していきたいので、よろしく願います。

(京都先端科学大学)

- 京都先端科学大学は、亀岡と太秦にキャンパスがあるが、1回生と2回生の体育授業は、亀岡キャンパスで行われる。
- 本学の学生は、条例でいう市民「等」(市内在住でない亀岡への通学者・通勤者等)になるが、市外の学生は市民の皆さんに比べると当事者意識が低い。そういった学生にどのように教育していくかを、亀岡市と一緒に考えていきたい。

(保津川の世界遺産登録を目指す会)

- NPO 法人プロジェクト保津川にも所属しており、毎月市内河川の定例清掃を実施しているが、市内河川にはレジ袋だけでなくペットボトル等、多くのごみが流れ着いている。
- 個人のモラルの部分もあるが、道路等へのポイ捨てや不法投棄も多く見られるので、そういった面も市でしっかり監視して頂き、綺麗にしていければ良いと考える。
- プラ製レジ袋に変わる紙袋への移行については、市内でエコバッグがかなり浸透しているので、それほど大変ではないのではないかと。
- 紙袋は、必要な方が必要な分だけ購入すれば良いと考える。紙袋にも多様な種類があるので、市に全て対応を投げるのではなく各事業者でも考えて、より良い方向に向かうことも大切ではないかと、今日の議論を聞いていて思った。
- プラ製のレジ袋は、プラごみのうちたった2%かもしれないが、自然環境に影響を及ぼす要因の一つと考えると、我々も引き続き活動していく。繰り返しになるが、不法投棄の対応やポイ捨て条例も含めて、綺麗な誰もが羨むまちを目指していければと考えるので、よろしく願います。

(かめおか霧の芸術祭実行委員会)

- 我々は、期間を限定した芸術祭ではなく、通年を通して人々の暮らしを豊かにする様々な取組みを日々実施している。
- 昨年度から環境部局と連携し、主に広報的分野で一緒に取組みを進めている。昨年度の取組みは大きく2つ、「KAMEOKA FLY BAG Project」と「環境ロゴマークの作成」である。
- 「KAMEOKA FLY BAG Project」は、廃棄予定のパラグライダーの生地からエコバッグを作るアップサイクル事業である。「環境ロゴマーク」は、デザイナーと市民が協力して作成したものである。
- 今年度も継続して、このバッグやロゴマークを活用し、亀岡の環境施策を広く発信していく取組みを進めていく方法を協議しているところである。
- 今後もアーティストの皆さんと一緒に取組んでいきたいと考えているので、御協力よろしく願います。

(亀岡子育てネットワーク)

- 当ネットワークでは、20代から40代の子育て中の母親と接する機会が多くあり、レジ袋の話題もよく挙がる。ほとんどの方がエコバッグを持参し、レジ袋を貰わない状況を聞いている。
- しかし中には、レジ袋を買うという方がいて、理由を尋ねるとプラスチックごみを排出する際の袋に使うためということであった。
- エコバッグに肉や魚を入れると、やはり臭いが気になり衛生的にも良くないと思う。エコバッグにシミが付くことを防止するために、ロール状のビニール袋を多く使ってしまう状況がある。
- そこで考えたことであるが、スーパー等でエコバッグを忘れた場合には紙袋ということであるが、同時にプラスチックごみを捨てる用の袋を10円で買うというような方法をとれば「レジ袋を買う・使う」という罪悪感から逃れられるのではないか。つまり、現在あるような指定のごみ袋のように購入し、それに商品を入れて持ち帰るという考え方。
- もう一つ、20代から40代の子育て世帯は新聞をとっていない場合も多い。そのため、この条例も「なんとなく知っている」が、詳細な内容まで届いていない場合もある。
- この条例や行動が環境の保全に繋がっているという意識付けに、まだまだ至っていないと思うので、例えば、エコステーションに資源を持ち込めばごみ袋が貰えるというような行動が目に見えるような手法の検討もお願いしたい。

(株式会社京都銀行)

- この1年間、協議会に参加して環境問題を考える良いきっかけになり、様々な意見が交わされる中で非常に勉強にもなった。
- この協議会は、これからも続いていくが、亀岡市が環境先進都市として発展していくことを願っている。

(京都信用金庫)

- 1年間、協議会に参加しているが、我々京都信用金庫としても、この亀岡の地で何ができるかを考えながら参画していきたいと考えているので、今後もよろしく願います。

(京都中央信用金庫)

- 当金庫では、亀岡市のプラごみゼロ宣言を受け、亀岡支店だけでなく全店舗でプラスチック製の袋を廃止して紙袋への変更に向けて動いている。
- この協議会で勉強したことを、亀岡の店舗だけでなく全店舗に還元するように、当金庫として環境に対する責任を果たしていきたいと考えているので、引き続きよろしく願います。

(京都北都信用金庫)

- ・事業者として積極的にレジ袋を使用する立場ではないが、市内の2店舗で働く職員が亀岡市で暮らし、勤務している。
- ・プラスチックごみ等の削減について、消費者の立場で全員が意識して今後も亀岡市の方針に沿った取組みをしていきたいと考える。

(公益財団法人亀岡市環境事業公社)

- ・本年度は、コロナの状況の中でのごみ出し等について、市民の皆さまから温かい激励の言葉も貰い、それを励みに職員一同頑張っている。
- ・4月から6月のごみの量を見てみると、パーセントでいうと10%増程であるが、プラや粗大、燃えるごみ等ものによっては約3割増という品目もある。
- ・燃えるごみについては、平均で月に約1,000トン出るが、5月については5月6日の1日で約850トン出たということで、現在の社会状況がかなり影響していると感じている。現在も粗大ごみはかなり多く、回収依頼の電話が鳴りやまない状況である。
- ・我々は、ごみの回収、資源の回収が仕事であるが、他方でごみの減量等も公益目的事業として実施している。
- ・レジ袋の削減については、お店でエコバッグをシェアする事業を社会実験的に昨年度から実施した。なかなかうまくいっていない現状もあるが、コロナの状況下でテイクアウトを実施する飲食店から声があり実施したところ、そこでは使用率が高いということである。単一店舗ではなく、商店街単位で循環できるような仕組みも模索している。
- ・今後も協議会でそういった話やアイデアも頂ければと考えているので、引き続きよろしく願います。

(京都府南丹保健所)

- ・プラごみゼロ宣言から条例の制定まで、全回参加している。
- ・せっかくの機会なので少し宣伝になるが、我々は幅広い範囲の仕事をしている。例えば、産業廃棄物の不法投棄対策やこういったプラごみ話も扱っている。
- ・亀岡市は、SDGsの取り組みに力を入れているが、南丹保健所でもSDGsの考えを切り口にして、「スマート環境学習」や「未来エコ環境スクール」と題した環境教育事業を実施している。内容は、亀岡市を含む南丹管内の小学4年から6年を対象に参加者を募っての体験型環境学習や小学校への出前授業であり、比較的歴史のある事業である。
- ・実施にあたっては、「京都丹波環境教育推進プラットフォーム」を設置し、学識者・行政・企業が一堂に会する組織を設置実施している。今年はコロナの影響で実施が難しい部分もあるが、多くの人に環境問題について考えて頂く機会を提供している。

(原田副会長)

- ・小学生の子供がおり、学校には大きな水筒を持参している。学校からは、なるべく多く

水分を持ってきて欲しいとの依頼があるが、水筒の大きさにも限界がある。

- ・ 亀岡の水道水は、過去に国からも認められた美味しい水である。今年度、亀岡市は BRITA Japan 株式会社と協定を締結し、高校生への環境教育やマイボトルの普及に取り組むということなので、市内の飲食店等の事業者と連携した給水スポットの普及も推進して頂ければと考える。
- ・ 国内では、IKEA や無印良品が店舗に給水スポットを設置したニュースもある。
- ・ 亀岡のおいしい水が、市内のどこでも飲めるような楽しい取り組みに繋がればと考えているので、引き続きよろしく願います。

(会長)

- ・ 皆さまから色々な御意見を頂いた。こういった意見を反映していけるように協議会を運営していきたいと考える。
- ・ ほかに御意見等なければ閉会としたいと思うので、一旦、事務局へお返しする。

(事務局)

- ・ 本日の議題の中でも触れたが、社会情勢も見ながらにはなるが、今後は議題の内容によりコンパクトな部会形式での運営も進めていければと考えているので、御承知おきを頂くよう願います。

◇岸副会長閉会あいさつ

- ・ 久しぶりの会議であったが、皆さまから様々な意見を頂き、本協議会が今後の亀岡のことを考える中で非常に重要な役割を担っていることを改めて感じた。
- ・ 各参画団体の皆さまからも御意見等頂き、環境意識が高いことに非常に力強く感じた。
- ・ 本日の議題の中でもあったように、今後は部会制も視野に入れる中で、より細かな様々な議題について議論することも考えられるが、よろしく願います。
- ・ 当面はプラ製レジ袋提供禁止条例の施行に向けて、様々な対応が出てくると思うが、引き続き皆さまの御協力をよろしく願います。

◇閉会